

「剣道との出会い そして夢」

網田小学校 6年 田邊 悠太

みなさんには、夢がありますか？ぼくの夢は、剣道の指導者になることです。

ぼくは、剣道を習っています。剣道を始めたのは、1年生の時でした。小学校に入学するまでは、思っていることを言葉にして伝えることがなかなかできなくて、人前に出るのが苦手でした。自分にあまり自信が持てなかったのも、どうしたら変われるだろうと思っていました。

そんな時、剣道に出会ったのです。きっかけは、いところが剣道をやっていたからでした。初めて道場に行くと、目を輝かせて真剣に練習に励んでいる人たちがいました。

「なんてカッコいいんだろう。ぼくもやってみたい。」

すぐに剣道のとりこになり、その日から今日まできつい練習にも負けずに続けることができました。

剣道を初めて約5年が過ぎましたが、この5年間で集中力が身に付き、たくましさが出てきたと思います。あいさつや返事などの声が大きくなり、礼儀作法も覚えました。このことは、ふだんの生活にもとても役に立っていて、いろいろなことにチャレンジできるようにもなりました。剣道がぼくを変えてくれたのです。

ぼくが住んでいる網田は、ほかの地区と比べると、小学校・中学校で剣道をしている子どもたちが多く、さかんな方だと思います。でも、全国的にみると、剣道の競技人口は年々少なくなっているそうです。

ぼくは、なぜなのか理由が知りたくて、調べてみました。

特に中学生や高校生の部員数は急激に少なくなり、学校の部活に剣道部がない地域も増えているので、子どもたちが剣道を選ぶことができない環境になりつつあります。

指導する人も高齢化によって後継者が不足し、道場の数が減ったり、運営のための資金が制限されたりすることも大きな原因になっているようです。さまざまなことが影響し、将来にわたって剣道を続ける人がどんどん減っていると

いう現実があります。

（このままでは、大好きな剣道がすたれていってしまう。世の中にもっと広めなくちゃ。）

そんな気持ちが日に日に強くなってきて、いつのまにか指導者になることが多くの夢になっていました。指導者になったら、道場を作り、剣道のみりよくを多くの人たちに伝えたいです。

道場にたくさんの人が来てくれるには、まず「田邊悠太」という名前を全国の人に知ってもらう必要があります。

強くなって試合に勝つために、今ひそやかにやっていることがあります。それは、体幹トレーニングやランニング、ストレッチ、すぶりです。みんなと同じ練習量では強くなりません。毎日の積み重ねがきっと実を結ぶと信じ、他の人よりも多く努力していきたいです。

『継続は力なり！』

熱心に教えてくださっている先生や先ばいなどお世話になっている人たちに恩返しができるように、そして海外で仕事をがんばり、家族を支えてくれるお父さん、いつも優しく見守ってくれているお母さんに喜んでもらえるように、夢に向かって一步一步進んでいきます。